

新田神社社報

平成26年1月1日発行
新田神社社務所
大田区矢口1-21-23
電話 03-3758-1397
<http://nittajinja.org/>



迎春

『今、この瞬間を大切に』

新田神社宮司 品川宗久

あけまして、おめでとございます。皆様方には、よきお年をお迎えになられましたことお慶び申し上げます。

さて、昨年は「新田神社鎮座六五五年大祭」にあたり、多くの皆様方よりの御奉賛やご協力やご理解を賜り、盛大な式典・各奉祝行事が斎行できましたこと、有り難く、厚く御礼申し上げます。新田神社は室町時代初め（一三五八年）にこの矢口の里に鎮座して、早くも今年で六五六年が過ぎようとしています。

この長いの間には、様々な歴史が生まれ、人々の生活観念や思想なども著しく変化をしております。この時間の流れは大きく『過去』『現在』『未来』と三つに分けることができます。この中で何が大切であるのかということ、「過去」にとらわれず、時の流れに身をまかせるのではなく、自分の目で見て、耳で聞いて、心と肌で感じた体験や経験をもとに、明日から何ができるのか、どうしたらいいのかをしっかりと考え、「明日からの一歩・未来」に向けて、今、この瞬間を一生懸命に生きる、止めることのできないこの限られた時間というものをむだなく大切に使っている。そうした有意義な日々の持続性ができているという『現在』が最も大切なのではないのでしょうか。

よく『一年の計は元旦にあり』という諺がありますように、新年を清々しい気持ちで迎え、誰しもが今年こそは何かをやるのだと目標や志などもたてる人も多いことだと思えます。ところが何らかの事情で、だんだんとその目標や志を忘れたり、あきらめてしまい、「まあいいや、また来年こそは頑張ろう。」と自分自身を

慰めてしまうのも、人間としての弱いところ、人の常でもあるかもしれません。

しかし、大切なことは、そこであきらめるのではなく、今日から、この瞬間から一生懸命に生きることなのです。皆様方におかれましては、今年、こうした前向きな姿勢で充実した日々をお過ごしいただき、御祭神のご加護のもと、益々発展・繁栄のよいお年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



『鎮座六五五年大祭を終えて』

大祭実行委員長 吉田貞夫

あけましておめでとうございます。

六年前に百年ぶりという六五〇年大祭が多く崇敬者をはじめ参詣者によつて、厳粛で盛大なる式典が挙行されました。矢口地区は氏神様として氷川神社があり、二年に一度の大祭を執行しております。新田神社は町の鎮守様として永い歳月にわたり、江戸時代には徳川幕府に庇護され、その縁起は平賀源内作の浄瑠璃や歌舞伎『神霊矢口渡』としても現在まで演じられております。又、全国で子ども歌舞伎でもこの演目が演じられているとのこと。このたび、氷川神社も兼務されている品川宮司から昨年、六五五年大祭を齎行したい旨、総代会で話され、矢口南町会、中町会、

北町会、武蔵新田商店会の実務者で話し合い、その実施が決定致しました。平成二十五年十月五日(土)稚児行列・ライブ公演。六日(日)神輿渡御・奉納演芸・江戸鳴り。十日(木)大祭式・古武道演武大会等プログラムも決まり、実行委員会は御奉賛募金のお願いに広く崇敬者、諸団体をお願いを致しました。そして大変心温まるご芳志を戴き目標額を超える奉賛募金を戴きましたこと衷心より御礼申し上げます。

又役員も百六十以上の方々、三町会の神輿の会の方々協力団体のご尽力で素晴らしい祭典・奉祝行事ができました。五日は台風接近で小雨の中、傘をさしながら、厳粛な衣装を着た宮司・神職・巫女さんを先頭に「稚児行列」が執り行われました。

夜は仮設舞台が濡れているために社殿前でのピース・ストーンのライブをパラパラの小雨の中、大勢の皆様が楽しめました。六日は天候に恵まれ神輿渡御日和で大森お囃子会の車の演奏を先頭に神職・役員・総代・来賓、そのあとを神輿会の大勢の団体が担ぎ上げる神輿が続き、素晴らしい渡御になりました。奉納演芸も民謡、武道披露、フラダンス、伶良さんのライブ、全てが素晴らしい舞台の演出を戴きました。夜は「江戸鳴り」和太鼓・尺八・津軽三味線と迫力のある、元気がいただけ演奏で神社の(気)が一体となった感じでした。十日は晴天の中、厳粛な儀式である大祭式が神職によつて執り行われました。午後からは古武道各流派の奉納演武大会が大勢の観客の中行われ、六五五年大祭が盛況の内に終了致しました。本当にありがとうございます。

この大祭をスタートして地域が絆を深めながら「和」を大切に、明るく元気な町づくり、いつ起こるかかわからない首都圏直下型地震の防火や減災に繋げていきたいと思えます。皆様のご繁栄とご多幸ご健勝をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とともに御礼のことばと致します。

『七福神・降臨』

この一月より矢口地域に『多摩川七福神』が奉斎され、新しい歴史が始まりました。

奉斎場所は新田神社（恵比須）、氷川神社（大黒天）、十寄神社（毘沙門天）、延命寺（寿老人）、矢口中稲荷神社（福祿寿）、東八幡神社（弁財天）、頓兵衛地蔵（布袋）です。いずれも地域に親しまれて、歴史を積み重ねてきた神社仏閣やお堂です。また、この七福神を巡るコースの周辺には、多摩川緑地をはじめ季節を感じさせてくれる自然と、この地域の歴史を物語る数々の史跡や名所、パワースポットが散在しています。この約一時間半でまわれるコースで地元商店街のスイーツや名物なども楽しみながら、気軽に「開運招福」祈願にお出かけください。

【開運招福の縁起物】 の一例



「七福神と新田神社の御祭神
新田義興公を乗せた宝船」

この七福神は瑞祥（めでたいしるし。吉兆。）の象徴として、
絵画・彫刻・芸能の題材にもされています。

また、新年に、この七福神の社寺を巡拝して福德を祈る七福神
参りは、室町時代頃に形成され、今日まで各地で盛んに行われて
います。

● 恵比須（新田神社）

この中で唯一、日本の純粹の神様です。日本神話のイザナギ・
イザナミの第三子で、蛭子尊ともいい、兵庫県の西宮神社に漁
業の守護神としてお祀りされています。それゆえ右手には、鯛が
かかっている釣竿を持っています。最初は漁業の守護神であった
恵比須は、後に農業においても豊作をもたらす神となり、次第に
商売繁盛・金運招福の神となりました。

● 大黒天（氷川神社）

インドの神で福德や財宝を与える「仏教の守護神」とされます。
その姿は狩衣のような服を着て頭巾をかぶり、袋を背負い、右手
で打出の小槌を持って、米俵に座っています。そして、この大黒
と大黒が同音であることと、日本神話の稲羽の白兔の話で有名な
大黒主命（出雲大社の神様）の姿も袋を背負っていたところ
から、両者が混同されてしまい、福の神として信仰されるよう
になりました。

● 寿老人（延命寺）

中国の宋の時代の高貴な人物を偶像化した延命・健康長寿の福
神といわれています。その姿は、手に巻物を結びつけた杖を持ち、
神使いの鹿を従えています。

● **毘沙門天 (十寄神社)**

インドの神で多聞天ともいい、須弥山に住み、北方世界を守護しているといわれています。その姿は武神形で甲冑を着けて、多くの夜叉・羅刹を統率するとともに、仏法を守護して福徳を授けるといわれています。

● **弁財天 (東八幡神社)**

もともとはインドの聖河を神格化した農業神でしたが、音楽・芸能の神となり、その後、仏教において福徳・延寿・除災・財運などをつかさどる福神となりました。その姿は宝冠をかぶり、青衣の美しい女神で琵琶を持っています。

● **福祿寿 (矢口中稻荷神社)**

中国の仙人で、福を授けるといわれています。その姿は、手に経巻を結びつけた杖を持ち、鶴を従えています。

● **布袋 (頓兵衛地蔵)**

中国の宋の時代(西暦四五〇年頃)に実在した徳の高い布袋和尚を偶像化した福神といわれています。

※新田神社に各七か所のスタンプがあり、御朱印カードや案内マップをご用意してあります。(有料)

尚、他の神社仏閣には、スタンプなどはありませんので、お参りだけして、福をいただいでください。

平成26年の厄年 (数え年)

| | 前厄 | 本厄 | 後厄 |
|------|-----------------------|---------------------|------------------------|
| 男の厄年 | 24才 平成3年生 ひつじ | 25才 平成2年生 うま | 26才 平成元年生 み(へび) |
| | 41才 昭和49年生 とら | 42才 昭和48年生 うし | 43才 昭和47年生 ねずみ |
| | 60才 昭和30年生 ひつじ | 61才 昭和29年生 うま | 62才 昭和28年生 み(へび) |
| 女の厄年 | 18才 平成9年生 うし | 19才 昭和8年生 ねずみ | 20才 平成7年生 いのしし |
| | 32才 昭和58年生 いのしし | 33才 昭和57年生 いぬ | 34才 昭和56年生 とり |
| | 36才 昭和54年生 ひつじ | 37才 昭和53年生 うま | 38才 昭和52年生 み(へび) |
| | 60才 昭和30年生 ひつじ | 61才 昭和29年生 うま | 62才 昭和28年生 み(へび) |

数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。厄年の方は、厄除祈禱をお受けになられたり、厄除の御守を身に付けられまして、厄年としての自覚を深め、神様のご加護のもと明るく充実した生活をお送り下さい。

幸せと安らぎの日々を

新春祈禱の御案内

年頭に当たり、皆様方の幸せと無事を祈り、明るい希望に満ちた平成二十六年となりますようご祈願申し上げます。

- 〔家内安全〕
- 〔縁むすび〕
- 〔商売繁昌〕
- 〔方位除災〕
- 〔合格祈願〕
- 〔営業繁栄〕
- 〔厄除招福〕
- 〔身体健全〕
- 〔交通安全〕
- 〔必勝開運〕
- 〔病気平癒〕
- その他

個人の祈禱料は、五千円以上お気持ちを納め下さい。

お問い合わせは (三七五八) 一三九七

新田神社社務所 まで